



武蔵大学・大学同窓会 共催「第 57 回土曜講座」
「高齢化社会」や「スポーツと健康」をテーマに講座を開催

日時：2019年2月16日（土）

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、一般、同窓生を対象とした第 57 回土曜講座を 2 月 16 日（土）に開催します。高齢化が進む近年、総務省発表の資料（2018 年 9 月 16 日付け）によれば、日本の総人口で 70 歳以上を占める割合が初めて 20%を超えました。「高齢化社会」「スポーツと健康」をテーマに、我が国の課題について触れていきます。講座は二部構成で、第一部は医学博士の池田康夫（学校法人根津育英会武蔵学園副理事長）、第二部は森健一（基礎教育センター准教授）が講演を行います。参加費は無料、どなたでも参加可能となっています。

武蔵大学「第 57 回土曜講座」

日 時：2019年2月16日（土） 14:00～16:00

場 所：武蔵大学 8702 教室（8 号館 7 階）

第一部 14:10～15:00 高齢化社会の課題と医療の最前線

講師：池田 康夫（医学博士）

学校法人根津育英会武蔵学園副理事長、早稲田大学特命教授、慶應義塾大学名誉教授

- 我が国は未曾有の高齢化社会を迎えようとしている。それに伴い疾病構造も大きく変化し、認知症や癌などを克服する最先端医療への期待が高まって来ている。一方、これらの疾患に非常に有効だが、高い薬価の新薬の登場による医療費の増大という新たな問題も提起されている。これらの費用負担の在り方も含めて、これからの我が国の医療の課題に触れてみたい。



第二部 15:10～16:00 これからのスポーツの役割

講師：森 健一（武蔵大学 基礎教育センター准教授）

専門分野 スポーツと健康の科学

- 人生 100 年時代、2025 年問題など超高齢化社会へ世界で最も早く到達する日本社会において、より豊かなライフスタイルをおくるためにスポーツ界が担う役割は非常に大きい。運動、スポーツとして人気のウォーキングやランニングによるポジティブな健康効果について考えながら、スポーツのある人生を通して、健康と向き合い、身体の健全化について多角的に考えます。

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当：西・齋藤（にし・さいとう）

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の 3 学部 8 学科からなる文系総合大学。一年次から 4 年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1